

新指揮者による新たな響き！

第17回コスモホール佐久第九演奏会 2017/12/3(日)

12月3日コスモホールでお会いしましょう！

指揮者 石毛 保彦
(いしげ やすひこ)



信州大学医学部卒業。医師として10数年働いたのち、指揮者になる夢を棄てきれず、桐朋学園大学音楽学部へ入学。指揮を黒岩英臣、秋山和慶、飯守泰次郎、高階正光、湯浅勇治（ウィーン国立音大）、バイオリンを徳永二男、大谷康子、山岡耕作、兎束龍夫の各氏に師事する。

桐朋学園大学卒業後、桐朋学園オーケストラアカデミー（指揮専攻）においてさらに研鑽を積む。在学中、学内オーディションにおいて最優秀の成績で選ばれて桐朋学園オーケストラを指揮、またチョン・ミュンファン氏指揮、桐朋学園オーケストラによる歌劇「カルメン」の副指揮者を務める。さらに韓国仁川で開かれた国際指揮ワークショップに参加、チョン・ミュンファン氏のマスターコースで薫陶を受ける。2006年アフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。

現在、全国各地のオーケストラの指揮者として活躍している。

ソリスト

ソプラノ 大山 亜紀子 (おおやま あきこ)



幼少期から中学2年生まで白田町で暮らす。

東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。第45期二期会マスタークラス修了時に最優秀者賞及び川崎静子賞を受賞。第74回日本音楽コンクール第2位および岩谷賞（聴衆賞）を受賞。第39回日伊声楽コンクール入選。第5回上毛新聞芸術文化賞（音楽部門）を受賞。これまでに『蝶々夫人』蝶々夫人役、『オテロ』デズデモナ役、『ファルスタッフ』アリーチェ役など様々なオペラに出演する他、「二期会ゴールドコンサート in 津田ホール」、「高崎音楽祭」「二期会week第三夜 三浦環物語」「徹子の部屋クラシック2014」などのコンサートに出演。また、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」、ヴェルディ作曲「レクイエム」のソリストを務める。二期会、群馬音楽協会、日伊音楽協会、日本声楽アカデミー各会員。

アルト 飯森 加奈 (いもり かな)



佐久市出身。名古屋芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。修了後2年間イタリア・ミラノにて研鑽を積む。声楽を中島基晴氏、ピアンカ・マリア・カゾーニ女史、リナ・ヴァスタ女史に師事。

これまでにオペラ『蝶々夫人』スズキ役、『フィガロの結婚』マルチェリーナ役等に出演の他、『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、モーツァルト『レクイエム』『戴冠ミサ』等のソリストとして多数出演。またディナーショーや各種コンサート、和楽器との共演や朗読劇への出演などさまざまな形で演奏活動を行っている。

05年・09年にはソロリサイタルを開催。12年より毎年美術館でのコンサートを企画、開催している。アミーチカント会会員、佐久演奏家協会会員、藤原歌劇団準団員、カノン音楽院声楽講師。

テノール 倉石 真 (くらいし まこと)



小諸市出身。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了。

モンテプルチアーノ音楽祭（伊）、日生劇場、藤沢市民オペラ、新国立劇場、東京室内歌劇場、横浜シティオペラ、ギルバート&サリヴァン音楽祭（英）、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場、東京・春・音楽祭、トリエステ・G. ヴェルディ歌劇場、他に出演。

最近ではボローニャ歌劇場日伊共同制作オペラ「蝶々夫人」（二条城）「トゥーランドット」（平城京跡）に出演したほか、佐藤しのぶ主演新演出「夕鶴」（市川右近演出、千住博美術、森英恵衣裳）の与ひょう役として全国18公演に出演。その安定した歌唱と真に迫る演技は高い評価を得ている。啓声会会員、日本声楽アカデミー会員、聖徳大学兼任講師、東京音楽大学講師。

バリトン 藪内 俊弥 (やぶうち としや)



長野県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。

第12回日仏声楽コンクール第2位入賞。《藝大メサイア》でデビュー。以降「ヨハネ受難曲」その他様々な宗教曲でソロを務める。オペラでは、若杉弘の指揮でバイジェット『セビリアの理髪師』、ツィンマーマン『軍人たち』（新国立劇場公演）を演じたのをはじめ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチェット、『カルメン』エスカミーリョ等幅広く演じている。

2011年にはルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場『ランメルモールのルチア』のエンリーコでヨーロッパデビュー。また同年中国西安人民劇院、北京人民劇院にて『ドン・ジョヴァンニ』のタイトルロールを演じ好評を博した。二期会会員。

佐久室内オーケストラ

佐久地域を中心に活動しているオーケストラ。1993年に創立以来、毎年10月にコスモホールにて定期演奏会を行なっている。永年にわたり原博道先生の指導を受け、東信地域を代表するアマチュアオーケストラとして成長、現在は寺島克彦先生が指導・指揮にあたっている。今年4月のスプリングコンサートでは、Ob. 上原朋子さん（小諸高校音楽科出身）と、また10月の定期演奏会では、P. 御邊典一先生（小諸高校音楽科非常勤講師）をお迎えしてモーツァルトのコンチェルトを演奏し、多くの皆様に喜ばれた。

現在団員は55名、職業・年齢も様々なアマチュアプレーヤーが集まり、演奏することを何よりの楽しみとして、週1回の練習に励んでいる。

クラシック音楽を生のおケストラで聴く素晴らしさをより多くの皆様に体験していただくことにより、その感動を共に味わいながら、地域の音楽文化向上に寄与すべく活動しています。

コスモホール佐久第九合唱団

本第九演奏会のための合唱団として7月にスタート。初めての方から連続17回目のベテランまで、佐久地域を中心に幅広い年齢階層の方々が参加。本番での「歓喜、感動!!」を目指して毎週金曜日コスモホールを中心に練習に励んでいる。

「ドイツ語が難しい」「声域が広い」など初参加者の不安にえられるよう、全体練習前に初心者向けの特別レッスンを用意。サポートのベテランの団員とともにじっくり指導を受け着実に実力をつけられるようにしている。合唱が初めてという方もこの特別練習とフルメンバーによるパート練習、全体練習でしっかり歌い込んで本番までには第九が歌えるようになっていく。

初参加者からベテランまで演奏会で最高のステージをお届けできるよう努力を重ねています。